



## 2022年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月11日

上場会社名 タピオ 株式会社  
 コード番号 2668 URL <https://tabio.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 越智 勝寛  
 (氏名) 谷川 繁  
 TEL 06-6632-1200

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	9,683	22.3	93		22		37	
2021年2月期第3四半期	7,917	30.5	1,012		812		1,347	

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 35百万円 ( %) 2021年2月期第3四半期 1,347百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	5.46	
2021年2月期第3四半期	198.27	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	7,965	3,746	47.0
2021年2月期	7,609	3,912	51.4

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 3,746百万円 2021年2月期 3,912百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		20.00	20.00
2022年2月期		0.00			
2022年2月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,969	30.1	204		218		131		19.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期3Q	6,813,880 株	2021年2月期	6,313,880 株
期末自己株式数	2022年2月期3Q	9,544 株	2021年2月期	15,378 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期3Q	6,802,384 株	2021年2月期3Q	6,796,583 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ<sup>1)</sup>(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年3月1日～2021年11月30日）における国内経済におきましては、10月に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が解除されたことに伴い、消費動向は持ち直しの動きがみられつつありますが、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内衣料品販売におきましては、緊急事態宣言が解除され、街中や商業施設の人流は戻りつつあるものの、長期間に亘る外出自粛等により消費者の購買動向は不可逆的に変化しており、「新しいライフスタイル」に即した商品を、デジタルとリアルの両面からお客様に訴求していくことが求められております。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した自己完結型の国内生産体制の強みを生かしながら、多様に变化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

また、前期より事業部制を採用すると共に、オンライン（ECサイトや各種SNS）とオフラインの融合強化を進めたOMO（Online Merges with Offline）体制の構築を行い、スピード重視の営業体制を実現することにより、全てのお客様に選んで頂ける「世界一の靴下総合企業」を目指しております。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、TwitterやInstagramと同期させたYouTubeを活用し、ECサイトや店頭サイネージに連動させることにより、様々な情報発信や話題の商品紹介を通じて『靴下屋』のファン層拡大に向けた取り組みに着手して参りました。また、知名度の高いキャラクターとのコラボレーション企画の実施に加え、ヤング型店舗への回帰を目指した『靴下屋』ブランドのフルリニューアルに着手するなど、ブランド刷新に向けた取り組みも行って参りました。

「ショセツ関連部門」における「ショセツ事業」では、働く女性に向けた高品質で機能性の高い商品の企画・提案を行うことにより、ハイセンスで付加価値の高いブランドイメージの構築に努めて参りました。また、『Tabio』ブランドのバーチャル店舗の構築等、時代に即した取り組みも行って参りました。「紳士靴下事業」では、紳士靴下専門店の『Tabio MEN』を中心に、ファッションにこだわりを持った男性のブランド認知度を向上させ、「メンズソックス」を当グループの新たな柱となる商品にすべく、引き続き、メンズ・レディース併売店の開発に向けた取り組みや、本店ECサイトでの販売強化等を行って参りました。

「海外関連部門」では、イギリス支店において、イギリス国内向けECサイトの運営体制の強化や、新販路開拓に向けた取り組みを継続的に行い、フランスの販売子会社Tabio France S.A.S.では、引き続き、EC事業の強化や既存店舗の立て直しに取り組んで参りました。また、北米向けのEC事業では、SNSを用いた販促活動を継続的に行う等、北米内での認知度向上に向けた取り組みを行って参りました。代理商を通じて展開を強化しております中国事業については、引き続き、一級都市を中心とした出店を推し進めております。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店19店舗、直営店2店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店1店舗、直営店13店舗の退店により、当第3四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店114店舗（海外代理商による24店舗を含む）、直営店166店舗（海外4店舗を含む）、合計280店舗となりました。

なお、2021年4月25日に再発出された新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、4月下旬から5月上旬の間、東京都・大阪府・京都府・兵庫県で70店舗余りが休業となり、宣言の延長や対象地域が追加された5月12日以降は、大阪府や一部の東京都の店舗での休業が継続され、その他宣言対象地域等では、土日休業や時短営業を行って参りました。6月21日時点で沖縄県を除く地域で宣言解除になったものの、その後の感染症再拡大により、緊急事態宣言の再発出やまん延防止等重点措置の再適用があり、対象地域の店舗については時短営業等を続けておりました。また、10月1日以降は、緊急事態宣言が解除されたことに伴い、全国の店舗で概ね通常通りの営業体制となっております。なお、EC売上については引き続き堅調に推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,683百万円（前年同期比22.3%増）、営業損失は93百万円（前年同四半期は営業損失1,012百万円）、経常損失は22百万円（前年同四半期は経常損失812百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は37百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,347百万円）となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期（3月～8月）に比べ下半期（9月～2月）に販売される割合が大きくなっております。従いまして連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が607百万円減少しましたが、売掛金690百万円、商品349百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて355百万円増加し、7,965百万円となりました。

負債については、電子記録債務が158百万円、長期借入金が151百万円減少しましたが、買掛金670百万円、流動負債のその他207百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて520百万円増加し、4,218百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて165百万円減少し、3,746百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の51.4%から47.0%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期における通期の連結業績予想については、2021年4月9日に公表しました業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,514,128	1,906,367
売掛金	603,314	1,293,507
商品	640,662	990,430
貯蔵品	482	458
その他	312,456	199,715
貸倒引当金	△449	△2,108
流動資産合計	4,070,595	4,388,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	603,814	597,847
土地	1,182,654	1,182,654
その他(純額)	200,253	330,389
有形固定資産合計	1,986,722	2,110,892
無形固定資産	329,370	308,266
投資その他の資産		
差入保証金	1,180,516	1,112,990
その他	45,585	44,581
貸倒引当金	△2,807	-
投資その他の資産合計	1,223,294	1,157,572
固定資産合計	3,539,387	3,576,731
資産合計	7,609,983	7,965,101
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	393,202	1,063,409
電子記録債務	565,017	406,073
短期借入金	12,699	-
1年内返済予定の長期借入金	220,851	219,244
未払法人税等	-	29,032
賞与引当金	86,702	28,364
ポイント引当金	42,933	28,186
資産除去債務	15,972	965
その他	636,507	843,886
流動負債合計	1,973,884	2,619,162
固定負債		
長期借入金	769,537	618,094
退職給付に係る負債	337,330	351,992
資産除去債務	293,174	289,975
その他	323,995	339,599
固定負債合計	1,724,038	1,599,660
負債合計	3,697,923	4,218,823

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	3,440,149	3,266,645
自己株式	△15,590	△9,313
株主資本合計	3,931,772	3,764,545
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,665	△5,301
退職給付に係る調整累計額	△14,048	△12,965
その他の包括利益累計額合計	△19,713	△18,266
純資産合計	3,912,059	3,746,278
負債純資産合計	7,609,983	7,965,101

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	7,917,736	9,683,505
売上原価	3,494,220	4,221,382
売上総利益	4,423,515	5,462,122
販売費及び一般管理費	5,435,946	5,555,142
営業損失(△)	△1,012,431	△93,020
営業外収益		
受取利息	9	7
仕入割引	5,094	6,661
為替差益	2,721	1,984
助成金収入	188,570	63,348
その他	8,736	3,469
営業外収益合計	205,131	75,471
営業外費用		
支払利息	3,743	3,721
その他	985	810
営業外費用合計	4,729	4,531
経常損失(△)	△812,029	△22,080
特別損失		
固定資産除却損	986	-
賃貸借契約解約損	4,567	5,786
減損損失	303,158	-
特別損失合計	308,712	5,786
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,120,741	△27,866
法人税、住民税及び事業税	13,424	13,533
法人税等還付税額	-	△4,243
法人税等調整額	213,372	-
法人税等合計	226,796	9,289
四半期純損失(△)	△1,347,538	△37,155
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,347,538	△37,155



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純損失(△)	△1,347,538	△37,155
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	60	364
退職給付に係る調整額	-	1,082
その他の包括利益合計	60	1,446
四半期包括利益	△1,347,477	△35,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,347,477	△35,709
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。